

令和7年度後期大学院科目等履修生開講科目一覧表

科目名	担当教員	単位数 (時間数)	配当年次	開講日程(予定) (※1、2)		授業方法
				曜日	時限	
看護研究方法論Ⅰ (量的研究)	小池 敦 他	2(30)	1年次後期	月曜日	E-1	遠隔授業 (一部対面)
看護研究方法論Ⅱ (質的研究)	浦野 茂	2(30)	1年次後期	火曜日	E-1	遠隔授業
看護倫理	安部 彰 他	2(30)	1年次後期	月曜日	E-2	遠隔授業
フィジカルアセスメント	白石 葉子他	2(30)	1年次後期	土曜日	※3参照	対面授業
臨床薬理学	林 辰弥他	2(30)	1年次後期	金曜日	E-1	対面授業 (一部遠隔)

(※1): 授業時間 E-1時限は18:00～19:30 E-2時限は19:40～21:10

(※2): 主な曜日、時限(予定)を記載しており、変更されることもあります。

(※3): 10/4、10/25、11/1、11/15、12/13、1/10の各13:00～16:10及び11/29の9:00～14:30

科目等履修生開講科目概要

看護研究方法論Ⅰ (量的研究)	量的研究の方法は看護研究の中でも重要な位置を占める研究方法の一つである。この講義では、量的研究の枠組みから解説を行い、量的研究の方法を理解し実践する際に必要となる基本的事項を学ぶ。
看護研究方法論Ⅱ (質的研究)	この授業の目的は、質的研究の基本的考え方と方法、意義についての理解を深めるとともに、これを看護実践の向上へと活かしていく方法について考察していくことである。この目的に向けてこの授業では、(1)質的研究論文の精読・検討、(2)調査研究のデザイン方法、(3)データ収集・分析方法、(4)質的分析専用ソフトウェアの使用法、のそれぞれを習得する。
看護倫理	臨地において看護を実践する看護師に不可欠な看護倫理の知識とスキル(思考)を養成する。そのために看護倫理の実践・理論の現状を批判的に分析し、その課題を明らかにする。またそれらの課題および多様化・複雑化する看護倫理問題の考察をつうじて倫理調整力を養う。
フィジカルアセスメント	複雑な健康問題を持つ対象者に対して、適切な臨床看護判断を行うために必要な、フィジカルアセスメントの知識と技術を学ぶ。
臨床薬理学	症状調整が必要な慢性疾患や、緊急対応が必要な各種疾患の治療に用いられる代表的な薬物について、使用頻度の高い順にその作用機序・副作用・注意事項に加えて、投与後のモニタリング・生活調整などの方法、回復力や患者の服薬管理能力の向上を図るための知識や技術を学ぶ。